

不発弾処理対策実績を総合評価項目として設定！！

記者発表資料

沖縄総合事務局開発建設部における工事の入札・契約方式につきましては、価格と価格以外の多様な要素を考慮した総合評価方式により実施中のところ です。

その中で今般、不発弾調査の促進と不発弾発見時の安全対策等の適切な対応を図り、もって県民生活の安全、安心を確保するために不発弾処理対策実績を評価項目として設定することとしました。これにより、県内における不発弾調査が尚一層充実されることと併せ、不発弾発見時の安全処理に対する積極的な対応を期待するものです。

平成 2 1 年 7 月 1 日
沖縄総合事務局

記者発表
沖縄総合事務局記者クラブ

問い合わせ先	
内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部	
技術管理課	
課長	平良 正光 (内線 3 3 1 1)
課長補佐	下地 博明 (内線 3 3 1 2)
電話番号	0 9 8 - 8 6 6 - 1 9 0 4 (直通)
〒900 0006	那覇市おもろまち 2 丁目 1 番地 1 号
	那覇第 2 地方合同庁舎 2 号館
電話番号	0 9 8 - 8 6 6 - 0 0 3 1 (代表)

総合評価方式における不発弾処理対策実績の評価について

(主旨)

沖縄県には、鉄の暴風とも比喻される沖縄戦において約 20 万トンの砲爆弾等が投下され、その内約 1 万トンの不発弾となったと推定されている。その中で戦後 64 年間にわたりその処理が実施され、昭和 47 年の復帰から現在までに 30,857 件 (1,785 トン) の処理が行われているが、引き続き、県民の安全と工事の安全を確保する上で沖縄の大きな課題となっている。

その様な中、本年 1 月に糸満市の工事現場において埋没不発弾爆発事故が発生し、オペレータが重傷を負い、周辺の福祉施設や車両等に多大な被害が発生した。

以上の状況において、総合評価方式の中で不発弾処理対策実績を評価項目とすることにより、調査の促進と不発弾発見以降の適切な対応を推進し、ひいては県民生活の安全・安心の確保を図ることを目的とする。

(対応方針)

県内での不発弾処理対策実績を評価

沖縄県内において不発弾の調査及び対策の促進を図り、不発弾爆発事故を防止する観点から「不発弾処理対策の実績」を評価指標とする。

評価事項	評価項目	評価詳細	評価の視点	得点	配点	評価基準	備考
企業の信頼性・社会性	地理的条件	不発弾処理対策の実績	過去に沖縄県内において不発弾処理対策を実施した実績 注：不発弾処理対策とは、現場において不発弾が発見され自衛隊及び警察が処理するまでの間、現場対策（立ち入り制限等の安全施設類の設置、安全管理上の監視、交通誘導員等の配置。）を行った実績	5	5.0	3 件以上	技術資料 対応
	社会的条件				2.5	1 件以上 3 件未満	
					0.0	実績なし	

適用工事

実績については、民間工事も含めたすべての工事で不発弾処理対策を実施した実績とする。
この評価項目を採用する工事は、平成 21 年 7 月 1 日以降公告する、埋没不発弾等の磁気探査を実施するすべての工事とする。